

流通における食品の製造・廃棄に関するアンケート

パンメーカー様向け

平成26年11月
公益財団法人 流通経済研究所

対象となる商品

貴社の製造されている商品のうち、【パン】についてお伺いします。
一般消費者が利用する小売店で販売されるものが対象です。

ご回答いただきたい方

貴社の製造や廃棄の実態を把握されている責任者、またはそれに相当するお立場の方が
ご回答ください。

アンケートの回答方法



- Excelファイルで回答する場合（PCで簡単にご回答できます）
アンケート配布メールに添付されているExcelファイルにご記入ください。
ご記入後は配布メールの本文に記載の下記のメールアドレス宛に返信してください。

メール mail-sav1@across-net.co.jp



- 用紙に記入して回答する場合
アンケート配布メールに添付されているPDFファイルをプリンターで印刷してご記入ください。
ご記入後は下記のFAX番号に送信をお願いします。

FAX 03-5823-4322

アンケートの締切日

誠にお手数ですが **2014年12月10日(水)** までにご提出をお願いします

ご回答頂いた内容は統計的に処理し、調査目的の範囲内でのみ使用致します。割合や金額をお答え頂く欄も
ございますが、個別企業名・企業別集計結果を外部に公表したり、および調査結果の目的範囲外に使用する
ことは、決してございません。加えて、本調査票は、業界団体よりご連絡しておりますが、ご回答内容は調査実施
機関である流通経済研究所により管理されますので、各業界団体にお伝えされることはありません。（処理にお
いては、委託情報処理会社 株式会社アクロスにより厳重な管理のもと取り扱われます。）

食品の返品・廃棄に関わる実態を把握し、取組みに反映して参りたいと存じますので、何卒ご協力のほど、宜
しくお願い申し上げます。

アンケート内容のお問い合わせ先について

調査の内容などにつきましては、下記担当者までお問い合わせください。

公益財団法人 流通経済研究所

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル10階

アンケート事務局 担当：石川、重富(しげどみ)

電話：03-5213-4533 Eメール：foodwt@dei.or.jp

●商品カテゴリー名について（A～D） ※下段は「商品例」

A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン〔惣菜系を除く〕	D. 惣菜パン
角食、山型、レーズン食パン、サンドイッチ用食パン等	あんパン、ジャムパン、チョコレートロール、メロンパン、クロワッサン、コッペパン、デニッシュ類、パイ類、甘味系ドーナツ等	フランスパン、欧風硬焼きパン、ロールパン、ベーグル、ライ麦パン、ハンバーガー用パンズ、コッペパン等	カレーパン、ソーセージロール、惣菜系ドーナツ等

※調理パン(ホットドッグ、サンドイッチ、ハンバーガー等)、蒸しパン、ケーキ類などは、今回の調査の対象外です。

I. 貴社の「商品カテゴリー」と「主力商品」について

問1. 貴社で製造されている「パン」について、以下の商品カテゴリーA～Dの年間売上高（出荷ベース）をご回答ください。

A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
百万円/年	百万円/年	百万円/年	百万円/年

問2. A～Dについて、販路別の売上構成比を「金額ベース」の構成比でお教えてください。

販路別の売上構成比	A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
スーパーマーケット	%	%	%	%
コンビニエンスストア	%	%	%	%
その他	%	%	%	%
合計	100 %	100 %	100 %	100 %

100%

問3. A～Dについて、当該カテゴリー商品の最も標準的な消費期限・賞味期限の設定日数をお教えてください。

	A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
設定日数	日	日	日	日

問4. A～Dについて、製造・出荷時間（生産予定数量を確定し製造を開始してから、製品の出荷を開始するまでの所要時間）の分布状況をお教えてください。

※A～D各々の全出荷金額＝100とした場合に、製造時間がどのような割合で分布しているかを、「金額ベース」の構成比でご回答ください。
※選択肢は、1～4が3時間刻み、5～6が6時間刻み、7が24時間刻みとなっています。

製造・出荷時間の分布	A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
1. ～3時間以下	%	%	%	%
2. ～6時間	%	%	%	%
3. ～9時間	%	%	%	%
4. ～12時間	%	%	%	%
5. ～18時間	%	%	%	%
6. ～24時間	%	%	%	%
7. ～48時間	%	%	%	%
8. 48時間超～	%	%	%	%
合計	100 %	100 %	100 %	100 %

100%

次ページ以降の質問も同様です

（全出荷金額＝100として、各列1～8の合計値が100となるよう、ご回答ください）

II. 「業務プロセス」について

問5. A～Dについて、出荷リードタイム（小売業から注文を受信してから、製品の出荷を開始するまでの所要時間）の分布状況をお教えてください。

※A～Dそれぞれ、「①スーパーマーケット(SM)向け」「②コンビニストア(CVS)向け」に分けて、各々の全出荷金額＝100とした場合に、納品リードタイムがどのような割合で分布しているかを、「金額ベース」の構成比でご回答ください。

※複数カテゴリーを一括出荷・納品する等の事由から、出荷リードタイムに商品カテゴリーによる差異がない場合は、全カテゴリーに同じ内容をご記入ください。

出荷リードタイムの分布		A. パン		B. 菓子パン		C. その他パン		D. 惣菜パン	
		①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け
物流センター向け出荷	1. ～6時間以下	%	%	%	%	%	%	%	%
	2. ～12時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	3. ～18時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	4. ～24時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	5. ～30時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	6. ～36時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	7. ～42時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	8. ～48時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	9. 48時間超～	%	%	%	%	%	%	%	%
店舗向け出荷	10. ～6時間以下	%	%	%	%	%	%	%	%
	11. ～12時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	12. ～18時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	13. ～24時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	14. ～30時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	15. ～36時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	16. ～42時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	17. ～48時間	%	%	%	%	%	%	%	%
	18. 48時間超～	%	%	%	%	%	%	%	%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

(全出荷金額＝100として、各列1～18の合計値が100となるよう、ご回答ください)

問6. A～Dについて、納品期限（店舗納品の段階で、製造後何日目の商品まで納品することが認められるか）の分布状況をお教えてください。

※A～Dそれぞれ、「①スーパーマーケット(SM)向け」「②コンビニストア(CVS)向け」に分けて、各々の全出荷金額=100とした場合に、納品期限がどのような割合で分布しているかを、「金額ベース」の構成比でご回答ください。

納品期限の分布		A. パン		B. 菓子パン		C. その他パン		D. 惣菜パン	
		①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け	①SM向け	②CVS向け
1.	D+0(製造当日)	%	%	%	%	%	%	%	%
2.	D+1(製造日の1日後)	%	%	%	%	%	%	%	%
3.	D+2(製造日の2日後)	%	%	%	%	%	%	%	%
4.	D+3(製造日の3日後)	%	%	%	%	%	%	%	%
5.	D+4(製造日の4日後)	%	%	%	%	%	%	%	%
それ以上	6. 製造日の <input type="text"/> 日後	%	%	%	%	%	%	%	%
	7. 製造日の <input type="text"/> 日後	%	%	%	%	%	%	%	%
	8. 製造日の <input type="text"/> 日後	%	%	%	%	%	%	%	%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※6～8の口枠は日数をご記入ください（全出荷金額=100として、各列1～8の合計値が100となるよう、ご回答ください）

Ⅲ. 「余剰生産」の実態と発生後の対応について

問7. A～Dについて、余剰生産の発生金額（出荷ベース）をそれぞれお教えてください。

※余剰生産の定義・・・「通常の販売方法で出荷できず、特別販売や廃棄処分、無償提供などの方法により処分した商品」を指します。
※ここでは、千円単位の年間の発生金額を、回答欄に記入してください。

A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
千円/年	千円/年	千円/年	千円/年

問8. A～Dについて、「余剰生産」の発生後にどのような対応/処理をしているかをお教えてください。

※A～Dそれぞれ、問7でご回答頂いた「余剰生産」の発生金額=100とした場合に、「対応/処理方法」別の構成比がどのようになっているか、「出荷ベース」の金額（通常販売の金額）の分布状況をご回答ください。

対応/処理方法	A. パン	B. 菓子パン	C. その他パン	D. 惣菜パン
1. 得意先小売業への特別販売	%	%	%	%
2. その他の特別販売 (社員販売、工場でのアウトレット販売など)	%	%	%	%
3. 得意先小売業に対する販促としての現物サービス (無償サンプルなど)	%	%	%	%
4. 無償提供 (フードバンクへの寄付、地域のイベントなど)	%	%	%	%
5. 廃棄処分(リサイクルを含む)	%	%	%	%
6. その他① <input type="text"/>	%	%	%	%
7. その他② <input type="text"/>	%	%	%	%
合計	100%	100%	100%	100%

(全出荷金額=100として、各列1～7の合計値が100となるよう、ご回答ください)

問9. A～D全般について、余剰生産が発生する理由を構成比でお教えてください。

※余剰生産の発生金額(出荷ベース)の合算値=100とした場合に、それぞれの理由が占める割合(構成比)をご記入ください。

余剰生産が発生する理由	A～D全般
1. 見込生産を行った場合に、小売業からの定番商品の発注数量が、需要予測を下回ったため	%
2. 見込生産を行った場合に、小売業からの特売商品の発注数量が、需要予測を下回ったため	%
3. 見込生産を行った場合に、小売業からの新商品の発注数量が、需要予測を下回ったため	%
4. 小売業からの専用商品、プライベートブランド商品、またはダブルブランド商品の発注数量が少なく、最少生産ロットを下回ったため	%
5. 製造ロス(規格外、不良品等)を見込み、発注数量より多めに生産するため	%
6. その他① <input type="text" value="内容を具体的に記入"/>	%
7. その他② <input type="text" value="内容を具体的に記入"/>	%
合 計	100 %

(「余剰生産」の発生金額=100として、合計値が100となるよう、「金額ベース」の構成比を、ご回答ください)

IV. 小売業との「情報共有」の状況について

問10. A～D全般について、小売業との情報共有がどの程度行われているかを、それぞれお答えください

※全取引金額=100とした場合に、①・②を行っている取引金額がどの程度あるか、おおよその金額割合を回答してください。

	A～D全般
①「販売実績」情報の共有(POSデータの入手)を行っている得意先小売業の構成比(金額ベース)	%
②「販売計画」情報の共有(特売、チラシ販売等の情報を、生産計画に反映するために事前に入手するなど)を行っている得意先小売業の構成比(金額ベース)	%

(全取引金額=100として、おおよその金額ベースの割合でお答えください)

問11. A～D全般について、「余剰生産」や「食品廃棄ロス」を減らすための方策として、以下の各項目はどの程度有効だと思われますか。それぞれ、もっともあてはまる選択肢の番号に、○をつけてください。

※A～D全般について、各方策の有効度をお答えください。

		有効である	やや有効である	どちらともいえない	あまり有効でない	有効でない
①小売店の「販売実績」情報の共有	POSデータ等の小売店の販売実績情報を、需要予測に反映するために入手するなど	1	2	3	4	5
②小売店の「販売計画」情報の共有	特売、チラシ販売等の情報を、生産計画に反映するために事前に入手するなど	1	2	3	4	5
③「発注・納品リードタイム」の緩和	小売業と協議し、小売の発注からセンターもしくは店舗までの納品期間を見直し、従来よりも余裕を持たせること	1	2	3	4	5
④「納品期限」の緩和	小売業と協議し、商品の製造日から納品が認められる日までの期間を延長すること	1	2	3	4	5
⑤納品時の「製造日の日付逆転」の容認	小売業と協議し、前に納入した商品よりも前の賞味期限・賞味期限日付の商品の後からの納入を認めてもらうこと	1	2	3	4	5
⑥「製造時間」の短縮	生産数量確定から製造終了までの期間を短縮すること	1	2	3	4	5
⑦自社製品の「消費期限・賞味期限」の延長	包装・商品の改良、安全係数の見直しによって、消費期限・賞味期限を延長すること	1	2	3	4	5
⑧その他	内容を具体的に記入					

問12. A～D全般について、これまでに貴社で「余剰生産」や「食品廃棄ロス」の削減を行った成功事例があれば、ご紹介ください。

※①～⑨の最もあてはまる欄に取り組み内容をご記入ください。(複数回答可)

取り組み内容	成 果 ※できる限り定量的にご記入ください
--------	--------------------------

記入例

3年前に、余剰生産を削減するため、菓子パンについて、得意先のスーパーマーケットから、納品の1週間前に発注見込数量情報を提供してもらうことにした。最終の確定発注数量は見込からある程度変化 する可能性があるものの、余剰生産の大幅な削減につながっている。	余剰生産の発生金額を10%削減することができた
---	-------------------------

①小売店の「販売実績」情報の共有

POSデータ等の小売店の販売実績情報を、需要予測に反映するために入手するなど

取り組み内容	成果
--------	----

②小売店の「販売計画」情報の共有

特売、チラシ販売等の情報を、生産計画に反映するために事前に入手するなど

取り組み内容	成果
--------	----

③「発注・納品リードタイム」の緩和

小売業と協議し、小売の発注からセンターもしくは店舗までの納品期間を見直し、従来よりも余裕を持たせるなど

取り組み内容	成果
--------	----

④「納品期限」の緩和

小売業と協議し、商品の製造日から納品が認められる日までの期間を延長するなど

取り組み内容	成果
--------	----

⑤納品時の「製造日の日付逆転」の容認

小売業と協議し、前に納入した商品よりも前の賞味期限・賞味期限日付の商品の後からの納入を認めてもらうなど

取り組み内容	成果
--------	----

⑥「製造時間」の短縮

生産数量確定から製造終了までの期間を短縮するなど

取り組み内容	成果
--------	----

⑦自社製品の「消費期限・賞味期限」の延長

包装・商品の改良、安全係数の見直しによって、消費期限・賞味期限を延長するなど

取り組み内容	成果
--------	----

⑧その他1

取り組み内容	成果
--------	----

⑨その他2

取り組み内容	成果
--------	----

お差し支えなければ、下欄にもご記入ください。

御社名			
-----	--	--	--

部署名			
-----	--	--	--

お役職		ご氏名	様
-----	--	-----	---

メールアドレス	@		
---------	---	--	--

住 所	〒 ー		
-----	----------	--	--

電話番号	()		
------	--------------------------	--	--

長い間ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。
表紙に記載のFAX番号に(表紙を除く2～8ページ)ご送信をお願いいたします。